

## 2月22日は「猫の日」大切なペットと一緒に快適に暮らす住まいのヒントとは？

積水ハウス株式会社では大切なペットと一緒に快適に暮らす住まいづくりのご提案を目的として、全国で犬と猫のいずれかを飼育している20歳～69歳の男女を対象に「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」を実施しました。

2月22日は「にゃん・にゃん・にゃん」の語呂合わせで「猫の日」です。日々の暮らしの中で、ご自身のペットと遊んだり、SNSで可愛いペット動画などを見て癒されたりする方も多いのではないのでしょうか。積水ハウスでは、暮らしにおける「幸せ」のさらなる追求のために「住めば住むほど幸せ住まい」として様々な調査を実施しています。今回は、ペットと一緒にもっと幸せに過ごすために、お互いに心地よく暮らせる住まいを、調査結果から解いていきます。

### ～調査サマリー～

- ✓ペットと楽しむことに「写真を撮る」が6割以上、暮らしの中で一番映える瞬間は「ベッドで寝ている時」
- ✓家の中で犬の半数以上は「リビング」「キッチン」「ダイニング」以外の出入りが限られる一方、猫の自由度は高い
- ✓猫を飼っている人のお困りごととして上位の「部屋が傷つく」実は何も対策をしていないが約4割

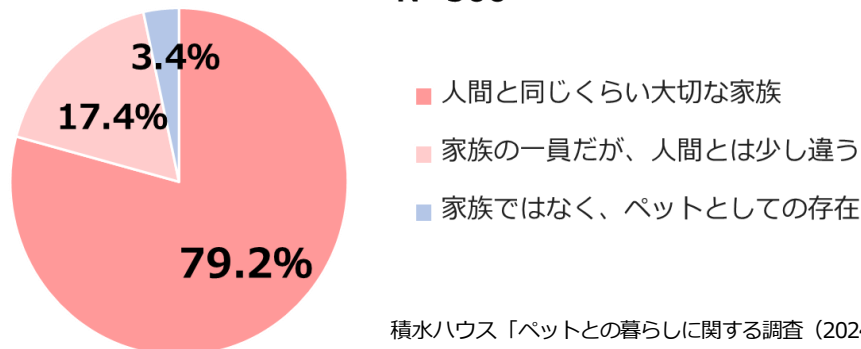
調査結果をはじめ、ペットと住まい手の両方の視点から共にうれしい住まいづくりの「幸せ Tips」もご紹介いたします。

### ペットと楽しむことに「写真を撮る」が6割以上、暮らしの中で一番映える瞬間は「ベッドで寝ている時」

「あなたにとってペットはどのような存在か」を聞いたところ、ペットは「人間と同じくらい大切な家族」と考える人が79.2%でした。また、ペットと一緒に寝ている人の割合が約半数もいることから、ペットを飼っている人にとって、ペットの位置づけがとても重要なことが分かります。住居形態別でみると、戸建住宅でペットを飼っている人より、集合住宅で飼っている人の方が犬は12.5ポイント、猫は9.3ポイント同じベッドで寝ている割合が高い結果となりました。

### あなたにとってペット（犬・猫）とはどのような存在ですか

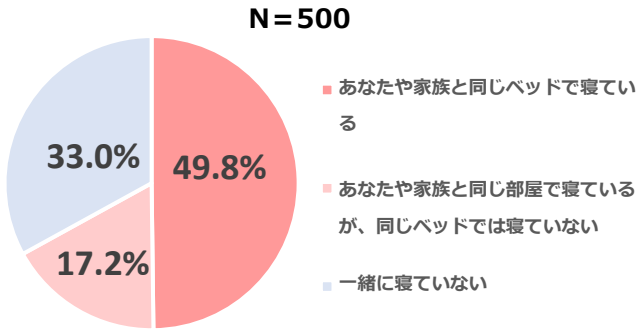
N=500



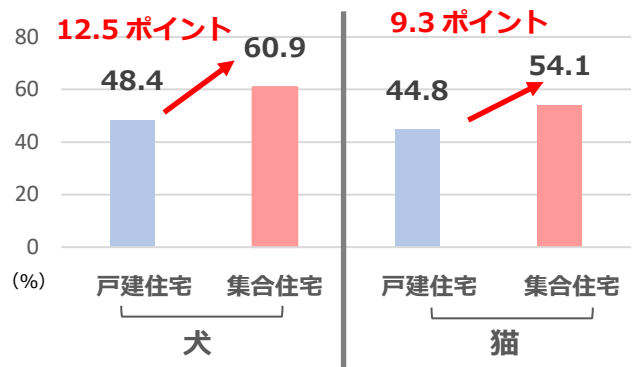
積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」

## ペット（犬・猫）と一緒に寝ていますか

## 住居形態別（戸建住宅/集合住宅）の同じベッドで寝ている人の割合 N=500



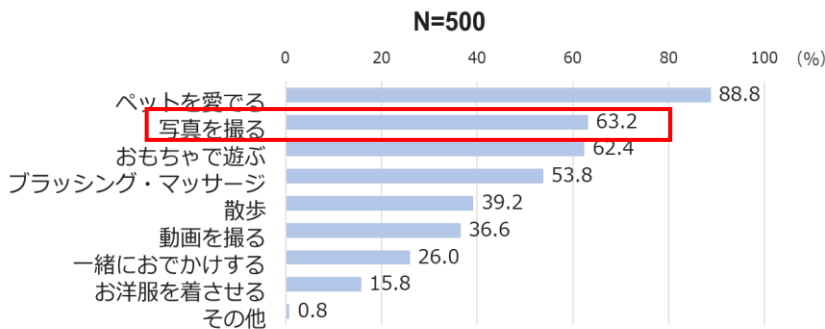
積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」



犬：戸建住宅 n=186 集合住宅 n=64 猫：戸建住宅 n=165 集合住宅 n=85  
積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」

続いて、日常の中で、ペットとどのように楽しんでいるかを聞いたところ、「ペットを愛でる」88.8%に次いで、「写真を撮る」63.2%、「おもちゃで遊ぶ」が62.4%で上位となりました。自宅の中でペットが映える瞬間も聞いたところ、1位が「ベッドで寝ているとき」、2位以降は「窓際で日向ぼっこしている時」「リビングで遊んでいる時」など、自宅でリラックスしている様子がより可愛く見えるようです。

## 日常でペットとどのようなことで楽しんでいますか(複数回答)



積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」

## 暮らしの中でペットが映える (特に可愛く見える)瞬間TOP5 (複数回答) N=500

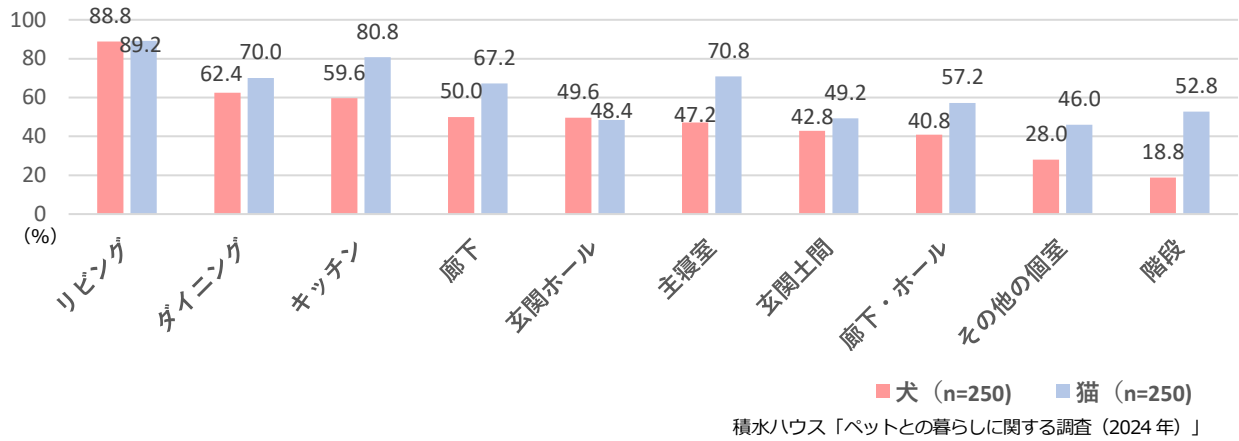
1位	ベッドで寝ているとき	73.8%
2位	窓辺で日向ぼっこしているとき	60.6%
3位	リビングで遊んでいるとき	56.8%
4位	餌を食べているとき	27.8%
5位	リビング以外の部屋で遊んでいるとき	25.8%

積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」

## 家の中で犬の半数以上は「リビング」「ダイニング」「キッチン」以外の出入りに制限がある一方、猫の自由度は高い

家の中でペットが自由に生き来できるエリアについて聞いてみると、「リビング」は犬猫ともに約9割弱（犬：88.8%/猫：89.2%）が自由に行き来できるエリアとしているようで、リビングはペットを含めた家族全員が一緒に過ごす重要な居場所であることが分かります。他のエリアを見てみると、「キッチン」（犬：59.6%/猫：80.8%）「主寝室」（犬：47.2%/猫：70.8%）「階段」（犬：18.8%/猫：52.8%）は犬と猫で差が大きく20ポイント以上異なります。犬を飼っている人は「リビング」「ダイニング」「キッチン」以外のエリアへの出入りに関して半数以上が制限しており、猫の方が家の中を自由に動いている傾向にあるようです。行動できるエリアは様々ですが、ペットが安心して暮らせるように、家の中での安全面も意識することが大切です。

## 家の中でペットが自由に行き来できるエリアをお答えください（複数回答） N=500



続いて、ペットのためにご自宅に導入している設備を聞いたところ、犬猫ともに「ペット用トイレ」（犬：69.2%/猫：91.2%）が最も多い結果になりました。また、犬の2位は「ペット用ベッド」52.0%（戸建住宅：46.2%/集合住宅：68.8%）、3位が「ペットスペース」で39.6%（戸建住宅：39.2%/集合住宅：40.6%）、猫の2位が「キャットタワー」54.0%（戸建住宅：46.1%/集合住宅：69.4%）、3位「爪とぎ柱」48.0%（戸建住宅：44.2%/集合住宅：55.3%）など、排せつなどの生活に欠かせない設備に加え、ペットの居場所をしっかりとっている人が多いようです。またこれらの居場所づくりは戸建住宅よりも集合住宅の方が導入している人が多い傾向にあり、限られたスペースの中で気持ちよく過ごせるよう、様々なアイテムで工夫していることが伺えます。

## ペットのために導入している設備 TOP5（複数回答） N=500

※戸建住宅と集合住宅で10ポイント以上差がある所を青字

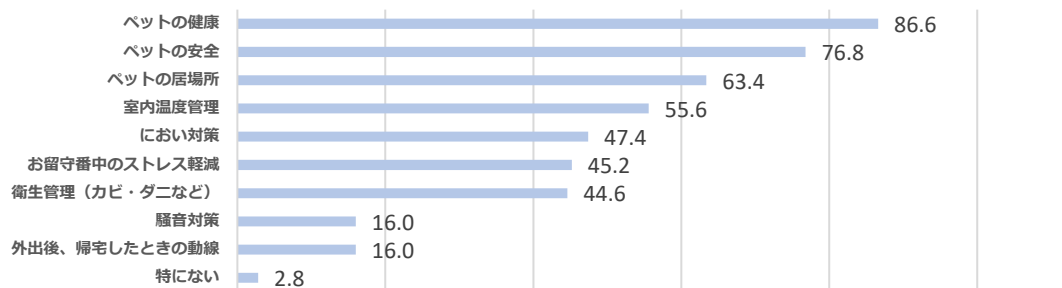
犬編 (n=250)			猫編 (n=250)		
1位	ペット用トイレ	69.2% (戸建住宅：66.1% 集合住宅：78.1%)	1位	ペット用トイレ	91.2% (戸建住宅：91.5% 集合住宅：90.6%)
2位	ペット用ベッド	52.0% (戸建住宅：46.2% 集合住宅：68.8%)	2位	キャットタワー	54.0% (戸建住宅：46.1% 集合住宅：69.4%)
3位	ペットスペース (サークル・ゲージなど)	39.6% (戸建住宅：39.2% 集合住宅：40.6%)	3位	爪とぎ柱	48.0% (戸建住宅：44.2% 集合住宅：55.3%)
4位	空気清浄機・空気清浄機能付き家電	24.4% (戸建住宅：24.2% 集合住宅：25.0%)	4位	ペット用ベッド	37.6% (戸建住宅：38.2% 集合住宅：36.5%)
5位	ペットゲート	14.0% (戸建住宅：14.0% 集合住宅：14.1%)	5位	空気清浄機・空気清浄機能付き家電	24.0% (戸建住宅：23.0% 集合住宅：25.9%)

積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査 (2024年)」

## 猫のお困りごととして上位の「部屋が傷つく」 実は何も対策をしていないが約4割

ペットと暮らす上で重要視することを聞いてみると、「ペットの健康」86.6%、「ペットの安全」76.8%、「ペットの居場所」63.4%が上位を占める結果となりました。また、猫を飼っている人で住居形態別に重要視ポイントを比較してみると、全般的に戸建住宅よりも集合住宅の方が重要視している点が多く、特に「騒音対策」では、戸建住宅が7.3%、集合住宅が27.1%と19.8ポイント差とかなり差がでています。その他、「お留守番中のストレス軽減」12.4ポイント、「室内温度管理」10.3ポイントの差が出る結果となりました。

## ペット（犬・猫）と暮らす上で重要視することはなんですか（複数回答） N=500

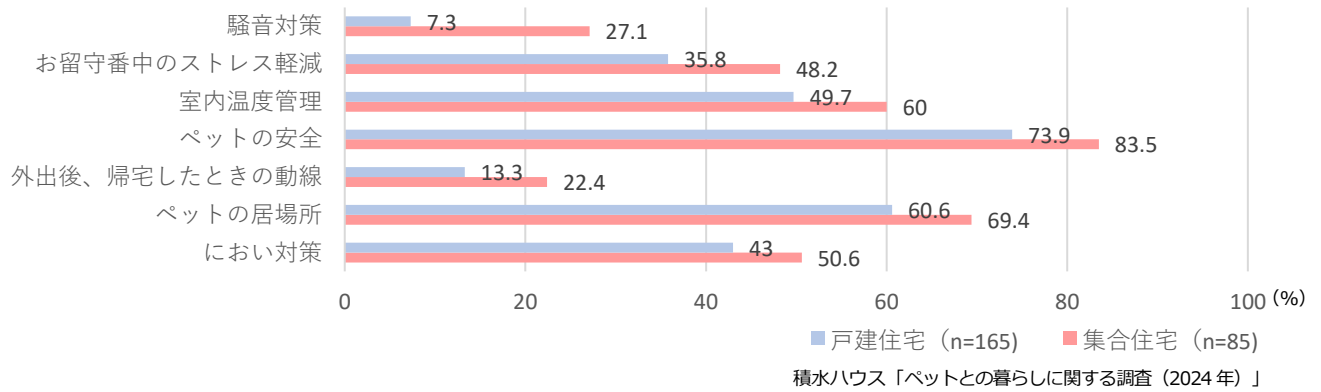


積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査 (2024年)」

【猫編】住居形態別ペットの暮らしで重要視すること（複数回答）

戸建住宅/集合住宅での差

※戸建住宅と集合住宅で5ポイント以上差がある項目のみ



続いて、ペットとの暮らしの中でのお困りごとを聞いたところ、犬は「滑りやすい床」が33.2%と最も多い結果となりました。その中で中型犬だけを見てみると、「掃除が大変」「ペットを洗うのが大変」と答えた方が多く、ペットの大きさの違いによってもお困りごとが違ってくるようです。また、猫は「掃除が大変」が最も高く34.4%、次いで猫特有の習慣である爪とぎの影響からか、「床や壁に汚れや傷が付く」（30.0%）、「家具などに傷や汚れが付きやすくなる」（28.0%）が上位でした。

家の中でペット(犬・猫)と暮らす中でのお困りごとはなんですか（複数回答）

犬編 (n=250)		
1位	滑りやすい床	33.2%
2位	ペットの安全確保	26.4%
2位	臭いが気になる	26.4%
2位	掃除が大変	26.4%
5位	騒音	23.2%

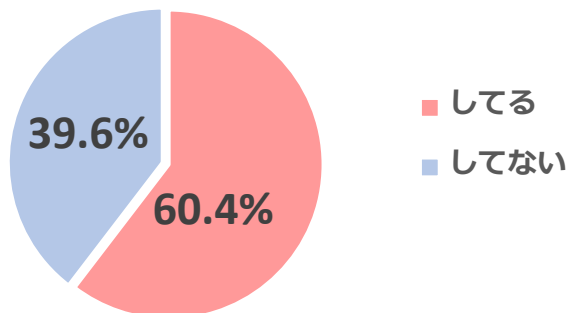
中型犬 (10kg以上) (n=49)		
1位	掃除が大変	42.9%
2位	滑りやすい床	38.8%
3位	ペットを洗うのが大変	30.6%
4位	ペットの安全確保	26.5%
5位	騒音/臭いが気になる	22.4%

猫編 (n=250)		
1位	掃除が大変	34.4%
2位	床や壁に汚れや傷が付く	30.0%
3位	家具などに傷や汚れが付きやすくなる	28.0%
4位	臭いが気になる	26.4%
4位	留守中のえさや温度管理	26.4%

積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」

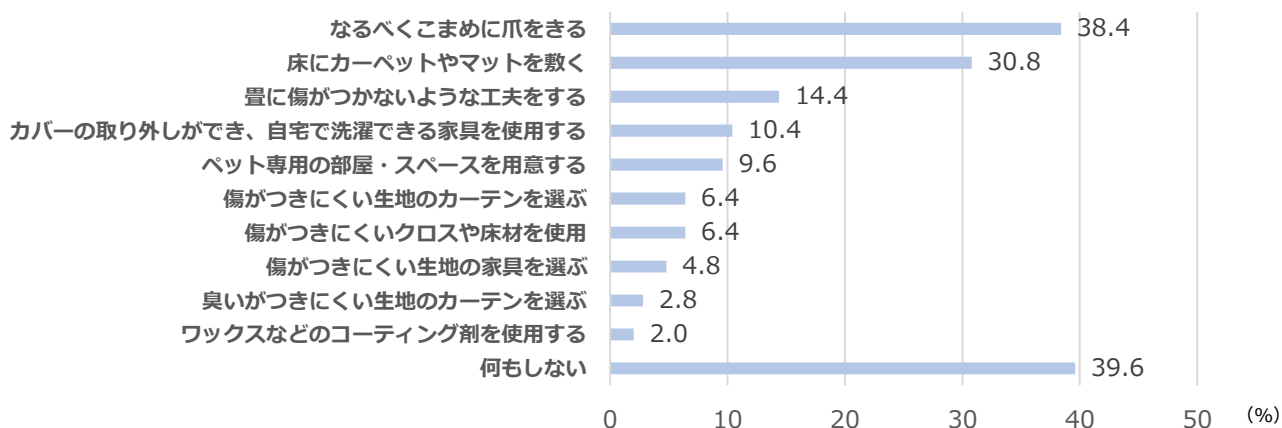
猫のお困りごととして上位に挙がっていた「部屋が傷つく」ですが、そのために何か工夫をしているかを聞いたところ、実は約4割が何もしていないということが分かりました。一方、工夫している内容としては「なるべくこまめに爪をきる」が38.4%で最も高く、次いで「床にカーペットやマットを敷く」が30.8%という結果となりました。

### 【猫編】家の中で部屋が傷つかないように工夫をしていますか n=250



積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」

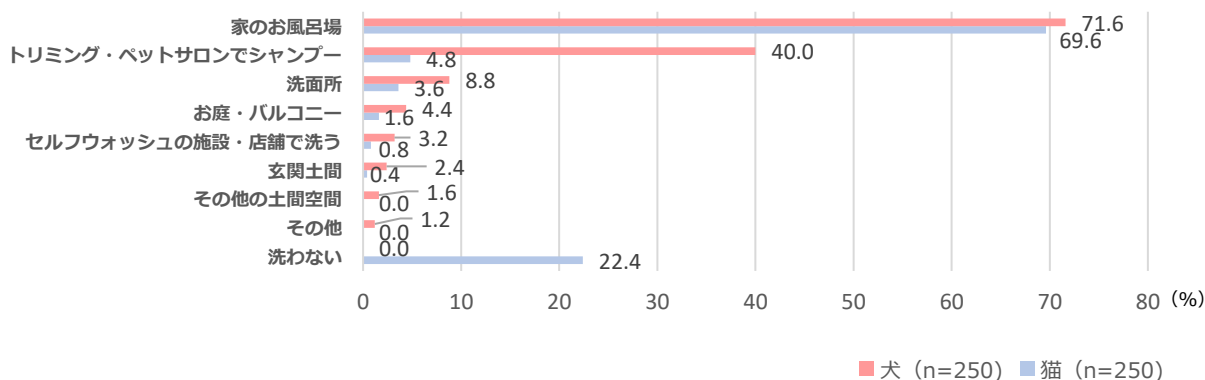
### 【猫編】家の中で部屋が傷つかないようにどのような工夫をしていますか（複数回答） n=250



積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」

次に、中型犬のお困りごとで目立った「ペットを洗うのが大変」ですが、ペットを洗う場所について聞いてみたところ、猫は22.4%が洗わないと回答しました。洗う場所としては、犬猫問わず「家のお風呂場」が約7割と最も高いです。ペットを飼っている人にとって「家のお風呂場」はシャンプー台の役割を担っていることが分かりますが、浴室で洗う場合は、中腰での作業を負担に感じたり、外からの汚れを浴室まで持ち運んだり大変ですよね

### ペットはどこで洗っていますか（複数回答）



積水ハウス「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」

## 4つの「幸せ Tips」で、人とペットが共にうれしい住まいづくりを

調査では、生活に楽しみや安らぎをもたらすペットですが、一緒に暮らしていく上で、ペットごと、居住形態ごとでそれぞれ飼い主にはお悩み事があることが分かりました。健康や安全に配慮することはもちろん、室内でもお互いが伸び伸びと暮らせるように、ペットの習性や過ごし方も考慮した環境づくりが重要です。積水ハウスでは動物と人間の両方の視点から快適に暮らせる空間づくりや、ペットとの暮らしに関する様々な提案を行っています。ここでは、今のお住まいに取り入れたい、住まいづくりの際に参考にしたい人とペットが共にうれしい4つの「幸せ Tips」をご紹介します。

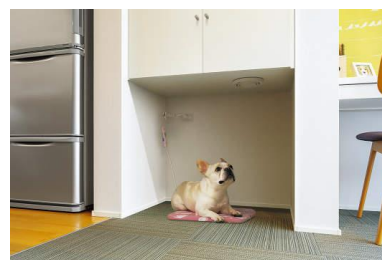
### ペットと住まい手が共にうれしい4つの「幸せ Tips」



- ① **猫のイドコロ**：猫は、外が眺められるところ、高いところなどが好きです。数箇所に分けてイドコロを用意し、自由に行き来できるようにしてあげるとよいでしょう。キャットタワーやキャットウォークを設けるのもおすすめですが、災害時など避難が必要なときに連れていけるよう手の届く範囲がおすすめです。



- ② **犬のイドコロ**：リビングの近くに、犬が食事をしたり、落ち着いてくつろげる場所としてドッグスペースを設けると、いつでも人の目が届き、犬も安心できます。犬は暑さに弱いので、直射日光の当たらない風通しのよい場所がおすすめです。戸建住宅なら、庭に立水栓を設けて、お散歩から帰って室内に入る前に、足をさっと洗うことができると便利。お湯が出るようにすると、寒い冬場も困りません。



- ③ **内装材選びも大切**：表面硬度の高いペット対応クロスは、傷つきにくく汚れてもふき取りやすいので爪とぎ対策、汚れ対策におすすめです。床はクッション性の高いファブリックフロアなら、足腰への負担も軽減でき、タイル状なので汚れた部分だけはずして洗うこともできます。猫や狼爪を持つ一部の小型犬は、爪が引っかかるおそれがあるので、カットパイルタイプのファブリックフロアがおすすめ。



- ④ **あらかじめ計画しておきたいシンクや収納**：浴室で中腰でペットを洗うのを負担に感じている人も多いのではないのでしょうか。乾燥や抜け毛の後始末もなかなか大変なもの。楽な姿勢で顔を見ながら洗ってあげられる多目的シンクがあれば、ペットの身づくろいがグッと快適に。普段は、外で使う道具や運動靴などを洗うスロップシンクとしても使えます。また、ペットフードやトイレシート、服やキャリアなど、様々なグッズの収納を想定しておくことも大切です。



#### 住生活研究をはじめとする住まいの専門家 河崎由美子メッセージ

今回調査からもわかるように、ペットと一緒に住む人の大半は「愛でる」ことを楽しんでいると回答しましたが、楽しんでいるのは飼い主だけではなく、SNSに掲載されたペットの動画を見て、その愛らしさに癒されている人も多いのではないのでしょうか。もはやペットは“大切な家族そのもの”ですよ。

そんな大切な彼らと一緒にもっと幸せに過ごすためには、積水ハウスでは、ペットとともにお互いに心地よく過ごせる住まいを、2000年から研究してきました。住まいは犬や猫にとっても大切なわが家。一生過ごす場所だからこそ、飼い主はそれぞれの特性を理解して、彼らにとってよりよい環境にしてあげたいものですね。

ペットとの暮らしは多くの喜びをもたらしてくれます。そんな彼らから受け取る幸せを彼らにもいつも感じてもらえるように、ペットと一緒に暮らす工夫を考えていきたいですね。



河崎由美子

フェロー R&D 本部

1987年入社。高校入学までの12年間を海外で過ごした経験や子育て経験などを生かし、総合住宅研究所でキッズデザイン、ペット共生、収納、食空間など、日々の生活に密着した分野の研究開発全般に携わる。執行役員、住生活研究所長を経て2023年4月より現職。一級建築士。

<「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」調査概要>

調査期間：2024年11月27日（水）～12月2日（月）

集計対象人数：500人

集計対象：犬・猫のどちらかを飼っている人（多頭飼育の場合は最年長動物について）

<記事などでのご利用にあたって>

・引用元が「積水ハウス株式会社」による調査である旨と、引用元調査「ペットとの暮らしに関する調査（2024年）」の記載をお願いします。

・積水ハウス ウェブサイトの該当記事への下記リンクの追加をお願いします。

<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/research/20250221/>

---

<積水ハウスの住生活研究について>

住めば住むほど幸せ住まい

積水ハウスは 2018 年から人・暮らしの視点で、ライフステージ・ライフスタイル、そしてこれからの住まいのあり方の調査・研究を行っています。今後迎える「人生 100 年時代」には、暮らしにおける「幸せ」のさらなる追求が重要と考え、時間軸を意識した「住めば住むほど幸せ住まい」研究に取り組んでいます。研究を通して、幸せという無形価値、つまり「つながり」「健康」「生きがい」「私らしさ」「楽しさ」「役立ち」といった幸福感を高め、家族やライフスタイルの多様な変化に対応する幸せのかたちをお客さまへご提案することを目指しています。

これまでの調査リリース：<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/research/>